



左が楷書に合うひらがなと、右が行書に合う ひらがなです。

字源(ひらがなになるまでの基の字)です。



硬筆も楷書に合うひらがなと行書に合うひらがなの書き方は毛筆(上記)と同じです。

下記参考にして下さい。特に赤点の位置がポイントです。

参考にして書いていきましょう。



